

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>



2024

11

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	7
奈良一艘の珠玉の一句	32
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 10月例会	19
川柳吟行会「ぼ」	25
十和田たてがみ川柳会 9月句会報	29
Infomation	34～

おかじょうき川柳社 会員の皆様へ
大事なお知らせです。

これまで紙での冊子で発行していた「月刊おかじょうき」ですが、昨今の物価高騰に加え、郵便料金の値上げなどを考慮した結果、皆さんからいただいている6,000円の**年会費では、今後の運営が厳しい**との判断となりました。

また、そんな状況の中、「年会費の増額」という皆さんへの負担を大きくすることも避けたいと思い、熟慮した結果、断腸の思いではありますが、**印刷物による柳誌の発行を断念**することといたしました。

これからは、おかじょうき川柳社のウェブサイト上の電子柳誌を、毎月、**誰でも年会費不要で閲覧**できるようになります。

その代わりに、印刷・郵送コストの大幅な削減が可能となり、**2025年からの年会費を現在の6,000円から4,000円に値下げ**いたします。

会員の主な特典としては以下の通りです。

- 月例会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

会員の中でも、スマートフォンやインターネット環境が整っていない方がおられることも重々承知しておりますが、現状ならびに今後も持続可能な柳社運営のための措置であるということを、ご理解いただければと思います。

おかじょうき川柳社

カンテラ

むさし

将来にむかって歩くことは、ぼくにはできません。将来にむかってつまづくこと、これはできます。いちばんうまくできるのは、倒れたままです。

これは、カフカの言葉。

ある方からいただいた「絶望名言」(頭木弘樹ほか著・飛鳥新社)という本で知りました。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

起きがけの鏡に映るエイリアン 吉田吹喜
 たくてもいい丈夫な足がいい 安藤なみ
 無遠慮に清く正しく生きますわ まきこ

稿を書いている頃は手術のため入院しているはず。変形したり壊れたりしている関節はさっさと取り替えた方がいいのですが、私もそうですが、簡単ではありません。今度こあきさんに会えるときは、「年齢も取り替える」んだから若返っているんだね！

B群

小池さんと踊るラーメンルンバ 須藤しのすけ
 ライオンの像あり大石武学流 吉田州花
 死者生者月下でおどる円舞曲 吉見恵子
 むすんではひらいて一切はおぼろ 斎藤泰子
 食べごろの空になるのを待っている 守田啓子
 証明書は左折しないと貰えない 熊谷冬鼓
 私の計報聞いたら散ってよね桜 きさぎ彼句吾
 逢う夜は全裸の滝になる私 米山明日歌
 憲法を変えるプラトップも変える 峯島 妙

峯島妙さん、「プラトップ」をネット検索したらあるところに「ブラジャーとインナーが一緒になったカップ付きインナーのことです。夏場など薄着になる

この先は片道切符らっつふふ

まみどり

デイサービスの犬に会いたい母がいる

城後朱美

残り時間を削って猫に食べさせる

三浦蒼鬼

言わないでよかった雨だれのことは

村上てる

たくさんの星眺めてるCカップ

一帆

転ばぬようダルマになってしまおうか

辻井洋子

こめかみに翻訳アプリかざしてみる

四ツ屋いずみ

中秋の名月収支合いました

鳴海賢治

抱いてはくれぬ きれいな夕焼けは

柳本恵子

憎まれ口きいてさみしい花一匁

葉 閑女

関節を取り替え年齢を取り替える

渡邊こあき

渡邊こあきさん、これって実感句ですよ。この原

季節でも、ストラップや下着の透けを気にする必要がなく、さまざまな着こなしを楽しめます。」とありましたが、これですよ。『憲法』を改正したら妙さんはどんな「プラトップ」にするんでしょう。ところで、憲法改正ってできるのかな…。

C群

つながると降水帯になるトンボ 戒 踊兵
 助けて下さいとまさかが立っている ひとり静
 わかれないカミさんはもう草書体 芝岡かんえもん
 ドライフラワーは捨てた外股になった 岩根彰子
 焼野原になったラクンパルシータ 小野五郎

戒踊兵さん、この「つながる」って、いわゆる「つなぎトンボ」になるってことですよ。『つなぎトンボ』について「ヤフー知恵袋」に驚くようなことが載っていました。「今日はトンボが2匹くっついて飛んでいるのをたくさん見かけます。どうしてですか？」という質問に対するベストアンサーに「連結は交尾ではありません。表示させてもらった写真の形が交尾です。

それから、連結して産卵に向かうわけですが、この時、もしもオスとメスが離れ離れになると、メスは他のオスと交尾してしまいます。後から交尾したオスは、メスの体の中から、前に交尾したオスの精子を掻き出して捨てるなどして、自分の精子のみが受精できるようにすることが知られています。つまり、オスにとつては、交尾の後、産卵まで同行しないと、自分の子孫を残してもらえないのです。交尾の後、連結して移動、そして連結産卵まで、オスは、メスの頭部をしっかりと捕まえて離れないようにします。(一部省略)」と書かれていたのです。踊兵さん、驚いた？

ひとり静さん、「まさか」が立っていたんですか。これまで「○○が立っていた」という句をいろいろ見ましたが「まさか」が立っていたという句は初めてです。しかも「助けて下さい」です。ところで静さん、「まさか」を助けてあげたの？

芝岡かんえもんさん、「わかれたいカミさんは」って、かんえもんさんがわかれたいのですか？それとも、「カミさん」がわかれたがっているのですか？「カミさん」の方が言ってるような気がしますが、違うかな…。で、

「草書体」になつてゐるって、楷書をくずしたのが行書で、「草書」は更に行書をくずしたものでしょ？つまり、やたらにくずれているってことじゃないですか。今度かんえもんさんに会ったら詳しいこと聞いてみようかな。岩根彰子さん、「ドライフラワー」をどうして捨てたのですか？今、わが家の玄関にドライフラワーのミニバラが数本飾られています、あれを捨てたら私も「外股」になるのかな…。

小野五郎さん、「ラクンバルシート」って、ネット上の辞書ウィキペディアに載ってる『ラ・クンバルシート』(LaCumparsita)は、ウルグアイのヘラルド・エルナン・マトス・ロドリゲス(1897年-1948年)が作曲した、タンゴを代表するグアルディア・ビエハ(古典曲)のことですよ。ウルグアイの第二の国歌とも言われているらしいですね。で、「ラ・クンバルシート」という曲名は、イタリア語の「Comparsa(仮装行列)」に由来するそうです。ということですが、「焼野原になつた仮装行列」ってやたら凄そうだけど、どういうこと？

(了)

おかしき川柳社会賞雑詠集

無人駅

★無人駅10月月間賞

裸の人に引き出しが付いている

小野五郎

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

真夏から振り落とされて既に秋
秋色に染まる間もなく旅の人
始発駅より絵になる終着駅
この先は片道切符らうふふ
見つけたら吹いて下さい天高く

先月号の
お気に入り

難しいことは詠めないロック酒
薄めると、もっと詠めなくなります。

奥田悦生

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

離島まであとどれくらい笑えるか
人は流れて腓返りを繰り返す
どこまでが本気か背骨揺れている
アナログの息切れ日付変わります
残り時間を削って猫に食べさせる

先月号の
お気に入り

前例になつてしまえばいいじゃない
そうです、後悔先に立たずですね。

斎藤泰子

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

夕焼けを齧りつくして竹原ピストル
打ち返すテトラポットの無表情
引つ張ると怪しいほうに落ちる恋
憲法を変えるブラトップも変える
カッチカチのデートにモロゾフのプリン

先月号の
お気に入り

ペッペッ北京原人のような頭して
本当に言いそつで怖いです。本当に言ってみたくです。

奈良一艘

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

ひりついた自問ひと月ぶりの雨
嘘くさい大丈夫よりイボコロリ
鶏頭の夫婦別姓的エール
オオルリのように囁るドーパミン
鬼にくれてやるウサギ的部分

先月号の
お気に入り

サーファーが島を零していきました
徳長怜
水がきらきら輝いているのが見える素敵な句

徳長怜

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

いんげんと茗荷に負けず日々暮らす
母不在男ばかりの殺風景
あと四つ寝れば我が家の花帰る
またしても目覚めた私の中のマゾ
私しか出来ぬ料理で四十日

先月号の
お気に入り

不発弾のまんまで老いてゆく
村井規子
気持ちはよくわかります。数多く投げれば必ず一つは当
ると思います。頑張りますよ。卒寿から応援します。

村井規子

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

税金をかすめて大言壮語
破廉恥な職権乱用やめてくれ
満身創痍で負け犬の遠吠え
ちよつと躓いただけなのに骨折
トイレに3回行っても眠れない

先月号の
お気に入り

日が落ちて私は丸い月になる
私も丸い月になりたいです。

村上てる

村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

朝ドラで今日一日も元気でる
はきなれた靴でしつかり生きている
今日の鬱ハイターにつけてとる
言わないでよかつた雨だれのことは
マンションから火花が見える一等地

先月号の
お気に入り

不発弾のまんまで老いてゆく
村井規子
気持ちはよくわかります。数多く投げれば必ず一つは当
ると思います。頑張りますよ。卒寿から応援します。

村井規子

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

日常に戻るカビンに戻される
食べごろの空になるのを待っている
泣けてくる同じ月見ているのだが
彼岸花咲くし大根の芽伸びるし
もがいてる秋雨前線に絡まれて

先月号の
お気に入り

いつの間にか雨
いつの間にか夏終わる
柳本恵子
いつの間にかの繰り返しですね、生きるって。

柳本恵子

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

千年の約束タイムマシンは壊れたままで
さびしいは止まったままの回転木馬
抱いてはくれぬ きれいな夕焼けは
まどろみの途中 回遊魚は動かない
往生際が悪い 雨降りやんでも

先月号のお気に入り

ゼンマイで動かしていた頃のこと ひとり静
おもちゃも時計もゼンマイでしたね。とってもいい時代
でしたね。

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

おひとりさまと並んで座るバスツアー
米不足かかしロードは黄金色
旧家には狩野派あざやかにピンク
ライオンの像あり大石武学流
メバル膳 大家に生まれつかずとも

先月号のお気に入り

雨マーク消えて手帳のがらんどろ 吉見恵子
がらんどろは自分のために使って下さい。

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

小春日や亡母も生誕百年か
夢二ともモジリア二とも違う首
出任せを言うから酸っぱい貌になる
憎まれ口きいてさみしい花一匂
星月夜亡き友一人また一人

先月号のお気に入り

線香花火もたされたまま齢をとる 斎藤泰子
ショーが終っても気づかずに持ち続けていたりして……。

吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

座骨神経痛イタタタタ
NANA 座骨神経痛イタタタタ
中秋の名月なんだつてねイタタタタ
痛いつてこんなことだったね眠れない
起きがけの鏡に映るエイリアン
2か月たったここが勝負だイタタタタ

先月号のお気に入り

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

藤袴 頑固とおして三回忌
処暑のかげ蝶に午睡を誘われる
花きりん壊れた音を聞かないか
死者生者月下でおどる円舞曲
ペルソナの面真つ二つ終刊す

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

笑い声きこえるまでに折る話
前向きに流れるつもり秋の川
指先の静かなる飢え深爪は
濁りだすいつか貴方に見せる蒼
逢う夜は全裸の滝になる私

先月号のお気に入り

喝采は光だけだと思っなよ 宮井いずみ
喝采の後が嶮しいのですね。納得です。

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

思いつきり降るなら降れよ同情の雨
吐いて吐いて吸って 秋の川渡る
この日々をなんと呼ぼうか10年後
こめかみに翻訳アプリかざしてみる
十六夜で浄化完了ワタシが戻る

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

ひっかかる人をきつてる裁ち鋏
見たいものばかり見ている伊達眼鏡
関節を取り替え年齢を取り替える
携帯が光る貴女はいないのに
杖をつく右手の甲に赤とんぼ

先月号のお気に入り

悔しくてあなたの家に放つ 鱈 芝岡かんえもん
いいですね、最高！ 鱈の仕入れ先教えてください(笑)

先月号のお気に入り

やっこくてほろ酸っぱくてねえ津軽 峯島妙
別の津軽を味わいに、又いらしてください。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

単細胞だった 幸せだったのだ
濁っても澄むと知ってる川の水
いまさらに旧約聖書もちだして
しゃっくりが飛び出し爪先に落ちる
太くてもいい丈夫な足がいい

先月号のお気に入り
悔しくてあなたの家に放つ 鰐
鱈皮のバッグ、懐かしい。 芝岡かんえもん

一帆【いちほ・秋田県秋田市】

頑なな横顔が好き触れてみる
たくさん星眺めてる〇カップ
星の数もう会えないと知っている
いい人のままで水平線渡る
歯が痛いきつと前世の罰ゲーム

先月号のお気に入り
外は雨ゆつくり騙しだまされる 瀧尻善英
そんな愛もあるのでしょうか。最近涙もろくて仕方ない。

奥田 悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

紙で居る月に帰ってしまうまで
行灯に過去が未来が見えてくる
紙吹雪舞うと女の落とし穴
一通の手紙が人を左右する
今日もはじまる右往左往の一日が

先月号のお気に入り

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

月下の蘭サロメの頬が蒼白い
昼間から春歌どこまで行くのだろ
ボックリボクリと仮面舞踏会
焼野原になったラクンパルシート
二番目に遠い太鼓が出てこない

先月号のお気に入り

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

祝祭だろうか芋焼酎に小蠅
噴水のとつぺんは治外法権
黒電話空の過呼吸わが手足
置き配のように風の影法師
ドライフラワーは捨てた外股になった

先月号のお気に入り
冥王星へ一泊したら戻ります 奈良一艘
数多の星から冥王星へ。今年から定宿にしましょう。

戒踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

褒められたばかりのような酔芙蓉
万力に抱かれて今を眠れない
イチジクの葉つばもフリルも恥ずかしい
そつちからは 見たことのない暖かさ
つながると降水帯になるトンボ

先月号のお気に入り
みな鬼籍おだててくれた男達 吉田州花
シャンだねー限られた大人にしか言えないセリフ

金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

ただいまに水鉢のメダカの乱舞
納豆にヤプー飛び込む玉の音
風の呪を甥に教えた風博士
暗い箱おとうと掬う藤袴
赤い空アプラクサスを仰ぐ民

先月号のお気に入り
何もかも置いて名前のない島へ 吉松澄子
好きな句です。合掌。

きさらぎ彼句吾【きさらぎあきあ・青森県弘前市】

欠陥品ですがまだまだ笑えます
ちつともらしくないかららしくする
苔にのみこまれるのも良いか乳房
どの助詞も取り持ち方にちよつと難
私の訃報聞いたら散つてよね桜

先月号のお気に入り
ふりがなのブラウス二枚買ってくる 安藤なみ
なみさんのふりがなはブラウスなんです。ひと目で自分だと解って貰えるブラウス欲しいなあ。

熊谷冬鼓

〔くまがいとうこ・青森県青森市〕

相性はいいはずだつた豆の蔓
種になるまでの時間を描き写す
証明書は左折しないと貰えない
認知症テストに咲いた彼岸花
名月とどんでん返し待っている

先月号のお気に入り
寝返りをうったところは海だった
眠れなかったのは溺れてたからなんだ。
鳴海賢治

古川啓子

〔こがわけいこ・青森県蓬田村〕

冬手前コスモスロードは応援団
コスモスの赤白黄色そのすべて
青空よコスモスとぼくは満開
コスモスの合唱隊が歌う歌
満開のコスモス突然のモブ

先月号のお気に入り

斎藤泰子

〔さいとうたいこ・秋田県大館市〕

幸運が来てもどよめくことはない
秋へ秋へと力任せに分け入れば
むすんではひらいて一切はおぼろ
きつとこれは伏線よく見てましよう
ぼんやりと秋の日暮れに漂えば

先月号のお気に入り
さわがぬように朱を入れて眠らせる
眠らせられたはずなのに、なんだろう、このザワザワは…
柳本恵子

坂本清乃

〔さかもときよの・青森県蓬田村〕

キャベツ畑紋白蝶と乱舞する
敬老を敬労として缶ビール
つぼみある九月の桐の親不孝
豊作の南瓜のつるに足とられ
満月に明日を祈る一人称

先月号のお気に入り
根拠のない大丈夫なら玄関に
「大丈夫」を並べて玄関を出るが不安だらけです。
熊谷冬鼓

嵯峨山登

〔さがやまと・佐賀県大和町〕

ダイエット宇宙にはバナナ美味かごた
日の暮れてジョギングきやあとおらばれて
初体験職質そぎやあん怪しかと
見せパンやなかとなかですなかとです
(パンツでん世間ば見たか時もあつ)

先月号のお気に入り
モアイ達の交換日記読んでいる
入手経路を教えてください。
小野五郎

笹田隆志

〔ささだたかし・青森県青森市〕

飢えてます燃料棒の蟻地獄
卯の花夫婦善哉五十年
父の齢数えて唱え昼寝する
青蛙お前も唾を吐くのかい
父の名は幸母の名は福祉です

先月号のお気に入り
ペッペッ北京原人のような顔して
もしかして、わたしのことでしょうか。
奈良一艘

城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

心不全ごときに負けぬ母がいる
トイレから汗びっしよりの母戻る
百歳を目指して母の朝ご飯
デイサービスの犬に会いたい母がいる
いくら頑張っても母ちゃんには勝たん

先月号のお気に入り
きれいごと並べる口が曲がりだす
そうみると皆んな曲がってる
城後朱美

芝岡かんえもん

〔しばおかかんえもん・神奈川県横浜市〕

頃合いをみて 妻から何になりますか
わかれたいカミさんはもう草書体
さすらつて ゆく先々で当て身うけ
しのこの言わずに明日を待っている
身体の真ん中に穴があいている

先月号のお気に入り
きれいごと並べる口が曲がりだす
そうみると皆んな曲がってる
城後朱美

城後朱美

〔じょうごあけみ・福岡県八女市〕

心不全ごときに負けぬ母がいる
トイレから汗びっしよりの母戻る
百歳を目指して母の朝ご飯
デイサービスの犬に会いたい母がいる
いくら頑張っても母ちゃんには勝たん

先月号のお気に入り
オーロラが見たいかラーメン食べたいか
脱水症状で緊急入院した母よ、退院したら鰻でも食べに
いこうね。
むさし

Sin

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

探すあてがないから今日も生きている
おや 見たまへ 破廉恥な月じゃないか
この世のものとは思えないあの世
孤独になるまで続くピタゴラスイッチ
パセリを添えて辻褃を合わせない

先月号のお気に入り
statのTシャツ着てる積乱雲
夏フェスってそんな感じ。
小野五郎

須藤しんのすけ

田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

小池さんと踊るラーメンレンバ
ゼンブFサイズジイサンノTシャツ
恋文を破く如來の思う壺
バスデイカードのふちは折っておく
愛ちゃんのスケジュールなら全部白

先月号のお気に入り
文明を少し外れて焚き火する
戎踊兵
んゝ、焚き火の色、音、匂い♡♡文明なんか◎△\$♪
×¥●&%#!!!

田中 薫

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

五臓六腑口から出ちやう程の嗚咽
バイバイキーンなんて言わせない絶対
坂道を転がって迷子のまま
脳内の貧乏ゆすりのタップダンス
背筋から涙十二湖の青の青

先月号のお気に入り
根拠のない大丈夫なら玄関に
熊谷 冬鼓
玄関に置いてく「大丈夫」あり過ぎて反省

旅男

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

立つてちちててとよたて父ちゃん
あゝ何と！拾ってくれる人がいつちまう
夜の重力どうにもならぬ虫チロロ
ゴールがあつて良かったね 煙ing
一切を天然色に俯瞰する南無

先月号のお気に入り
桜吹雪「色即是空」は見ましたか 奈良一艘
物事が桜吹雪で見えた時、完結でしょうか。

踊り場で待つていたのがピーターパン
発車ベルダダダダダツと競う脚
マッチングアプリで夫婦ウフフフ
権力を握れば鶴の声になる
砂で描くアート儂い曼珠沙華

先月号のお気に入り
プリンバンボンとつるんでいるトカゲ むさし
いま幼稚園からシニアまで大ヒット中のラップ。今年、紅白出場やレコ
ド大賞を獲るかも？。このリズムが耳に残ります。我々はトカゲとは…。

良く吠えるスピッツを混ぜて金庫番
その他には頭と足が乱れてる
太陽つて何度まで耐えられますか
昨日のように生きてた赤は島流し
先週の恋人をまだ持っている

先月号のお気に入り

眼鏡拭くわたしの道か楽しいか
頬杖のあとだけ残るだるい午後
熱帯夜きんぎよとわたしの煮え具合
転ばぬようダルマになつてしまおうか
多分いる私のトゲに泣いた人

先月号のお気に入り
線香花火もたされたまま齡をとる
斎藤泰子
いつポタリと落ちるか、切ないなあ。

蜘蛛の巣の上で見つかる落とし物
嘘つばい雲を剥いでる火星人
雷が落としていった熱い過去
順番を乱し出しゃばる積乱雲
一筋の雨に生き様聞いてみる

先月号のお気に入り
ダ・ル・マ・さん。が そんな目で見んな Sin
そっかそんな目で見たのか。今度ちゃんと観察してみ
なくちゃ。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

ケースバイケースです根回ししたか
中秋の名月収支合いました
食べました寝ました雲が切れました
にこみうどんはおまかせくださいませ
常識の範囲で割って投げ捨てる

先月号の
お気に入り

更新はしたか 点々と雨雲
簡潔にして意味深な感がある。

守田啓子

まきこ【まきこ・青森県青森市】

無遠慮に清く正しく生きますわ
許可しないあなたの旅立ち許可しない
駆け足始め月にはばたく所存です
知ったふりしてはオホホと笑う癖
あこがれをまあるく書いて届けます

先月号の
お気に入り

前例になつてしまえばいいじゃない
うまい手ですね。はい。そうします。

斎藤泰子

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

取説を書いている人に会いたいわ
ひたむきをいちご白書と切り捨てる
助けて下さいとまさかが立っている
酸っぱいと言えた狐に花束を
まだ声が残っているじゃないですか

先月号の
お気に入り

悔しくてあなたの家に放つ 鰯
鰯は困る 本当に困る

芝岡かんえもん

むさし【むさし・青森県蓬田村】

台風が徘徊してる後頭部
暗闇の焦げたところの甘辛煮
ミサイルがはみ出してしまう鼻の穴
頭の中のメモリーカードはカビだらけ
カボチャの馬車は月の裏まで行くのかな

が座るカウンター

10月5日(土) 午後1時～ アウガ5階 小会議室

▼出席者(13名)

夏草ふぶき・熊谷冬鼓・戎踊兵・きさらぎ彼句吾・一帆・米山
明日歌・笹田隆志・守田啓子・葉閑女・むさし・船橋敏昭・藤
田智恵子・Sin

▼投句者(22名)

須藤しんのすけ・峯島妙・柳本恵子・芝岡かんえもん・嵯峨山登・
齊藤泰子・岩根彰子・奥田悦生・村上あつこ・宮井いずみ・吉
田吹喜・金瀬達雄・田中薫・安藤なみ・まみどり・まきこ・村
井規子・船橋敏昭・鳴海賢治・郷田みや・旅男・坂本清乃

おかじょうき川柳社

10月例会

席題『印象吟』

青森県青森市 夏草ふぶき 選

(※印象吟：組み立てた焼きサンマの絵)

【佳作】

サンマなら美味しい煙出さない
熊谷冬鼓

届かない位置に新米焼きさんま
熊谷冬鼓

眼底にサンマ泳がせ燃えてゆく
むさし

サンマ焼こう 彼の手紙が着火剤
藤田智恵子

マグロから出て来たサンマを焼いて食う
戎 踊兵

七輪に変身済みの石頭
藤田智恵子

サンマ焼く埋めた男を掘りおこす
米山明日歌

焼き方はミディアムですかと窓が開く
一 帆

全うに人恋しくてさんま焼く
一 帆

干し柿とサンマの違い述べなさい
むさし

三日目で禁酒を破る焼き秋刀魚
船橋敏昭

七輪の上の秋の余白に置くサンマ
むさし

毎日が折り紙のようサンマ焼く
笹田隆志

うなぎ屋の備長炭で焼くサンマ
戎 踊兵

あの男煙の芯になったまま
藤田智恵子

【秀逸】

七輪の煙 斎場の煙 戦場の煙
S i n

斜陽に急かされてみんな骨になる
きさらぎ彼句吾

七輪で焼いた人生味見する
笹田隆志

【特選】

折りたたみ式さんまです召し上げれ
守田啓子

♪ 折りたたむと持ち運びもしやすいね。

席題『印象吟』

青森県青森市 熊谷冬鼓 選

(※印象吟：組み立てた焼きサンマの絵)

【佳作】

斜陽に急かされてみんな骨になる
きさらぎ彼句吾

あの男煙の芯になったまま
藤田智恵子

七輪で焼いた人生味見する
笹田隆志

眼底にサンマ泳がせ燃えてゆく
むさし

お喋りをし過ぎた夜の青魚
夏草ふぶき

毎日が折り紙のようサンマ焼く
笹田隆志

夕空へ届けるように焼くさんま
葉 閑女

折りたたみ式さんまです召し上げれ
守田啓子

三日目で禁酒を破る焼き秋刀魚
船橋敏昭

コマ送りしても迫り来る炎
きさらぎ彼句吾

許そうか煙の先にいる男
米山明日歌

七輪の上の秋の余白に置くサンマ
むさし

もしかしてあなたも飛び出す絵本なの？
S i n

骨のないサンマを焼いて日が暮れる
夏草ふぶき

秋刀魚二尾もう焼くこともない泣かない
S i n

【秀逸】

七輪の煙 斎場の煙 戦場の煙
S i n

はらわたはミディアムにして焼いてくれ
戎 踊兵

秋刀魚らしくらしくテロリストも老いた
きさらぎ彼句吾

【特選】

秋刀魚焼くことだけうまい父でした
米山明日歌

♪ さんまを見る度にお父さんを思い出すのですね。

宿題『システム』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

【佳作】

システム手帳君の悪口書いて冬
大雨にまたぞろ黒いカルマ論
システムは機能しないが雨は降る
システム変更要らなくなったのは私
システムが三面鏡の奥にある
晩酌というシステムが作動する
流されてそのようにして拾う骨
友達をつくらないという選択肢
管理者に辿り着けない官の森
プルサーマル句読点打ち以下余白
水曜は顔が誤作動くり返す
再起動させたらキミは振り向くか
ばあちゃんがシステム異常なんだって
システムエラー鹿肉食べてからの事

まきこ
金瀬達雄
鳴海賢治
斎藤泰子
郷田みや
むさし
戎 踊兵
夏草ふぶき
金瀬達雄
藤田智恵子
夏草ふぶき
峯島 妙
むさし
柳本恵子

再起動してもやっぱり振られ役

テンプレートにスルリとまぎれこむルフィー

鼓動止まるまで毒は毒でなきや

透明な嘘の匂いのするスマホ

この規則変な匂いがしませんか

九月から一番星を任される

【五客】

どちらかが地獄へ続いているホーム

コーラから関東が浮く国家観

システム手帳 錆のあと焦げた跡

右手には顔認証の天の川

救われた同じ言葉で人を刺す

【人位】

規約第1条人は海になる

【地位】

マンモグラフィから大波小波波

【天位】

平日の私の海は覗けない

※そのセキュリティの高さは、日本企業のシステムに採用するべきです。

葉 閑女

きさらぎ彼句吾

きさらぎ彼句吾

須藤しんのすけ

芝岡かんえもん

戎 踊兵

夏草ふぶき

金瀬達雄

坂本清乃

一 帆

一 帆

守田啓子

一 帆

米山明日歌

宿題『転』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

何もない所で転ぶヤバイよね
ガリガリのお転婆だった猿だった
七転び一度も起きぬ我が人生
サイコロに全部平和つて書いてホイ
ハム・ベーコンやめて鯖缶呼び寄せる
太陽を裏返したら火傷した
人生を年賀ハガキに転写する
転んでも空を見ること忘れない
だるまさんがころんで 尊厳死もころんで
三十年ワタシ転んだまんまです
転寝そそのかす肉厚のソファ
鏡の中の自分はどうか倒れたか
色白でいたかったのに焦げてきた
7回も転べば次はヤブの中

吉田吹喜
村上あつこ
船橋敏昭
田中 薫
葉 閑女
夏草ふぶき
笹田隆志
坂本清乃
S i n
嵯峨山登
きさらぎ彼句吾
S i n
夏草ふぶき
まみどり

転調下手な血でよかつたら差し上げる

転々としてました老衰でした

春の輪転機から蝶が飛びたつ

知っている助けてもらう転び方

転居して別れた妻を飾ってる

あの夏の校庭の青に寝転がる

【五客】

調理師にも清掃員にもなれず主婦

転勤とリストラどっち選ぼうか

逆転はもう望まない朝ぼらけ

起承転結ごめんなきいの入れ処

午後二十九時半異世界転生

【人位】

全身を転げ回っている枯れ葉

【地位】

転用不可私だけの月だもの

【天位】

転生してサロメは牡のカマキリに

※サロメってそうだったのか。

きさらぎ彼句吾

鳴海賢治

米山明日歌

まみどり

笹田隆志

S i n

藤田智恵子

船橋敏昭

斎藤泰子

戎 踊兵

須藤しんのすけ

守田啓子

きさらぎ彼句吾

葉 閑女

宿題『自由詠』

青森県青森市 葉 閑女選

【佳作】

調律のすんだ岸から舟が出る	米山明日歌
だれがなんとのおうとどじょうは2匹	鳴海賢治
大丈夫を喰って老いる一人称	坂本清乃
饒舌なハシビロコウに懐かれる	夏草ふぶき
ネジの回転はアブラハムの髭に	安藤なみ
注の3ただ働きはやめましよう	まきこ
別れ時シードルの泡月あかり	一 帆
透明な息になるまで唄う箱	米山明日歌
苦くつてまつすぐな秋のアールグレイ	柳本恵子
サムライよさつきと消えてしまいなさい	芝岡かんえもん
血液の錬金術で得たいのち	嵯峨山登
負のループ抜けだすためのピアス穴	宮井いずみ
生き死にを思う小春の風の中	斎藤泰子
満月のエグい食べ方知ってます	むさし

奥歯シクシク 今日も自分を赦せない

とっておきの曲を聴こうと言う枕

間違いのない折り傷がある四角

一足す二まだ四にするして見せる

あやふやにしておこう手ぶらで行こう

空色をはずせば大泣きのカラス

【五客】

絵の中の女に酒を呑ませてる

ステージ4 これ以上月よ欠けるな

煩惱の後ろでカラスかあと鳴く

納得をするまでゴムを伸ばしなさい

わたくしは天才なので帰ります

【人位】

抱き合つて夕日にタッチしませんか

【地位】

輪ゴムで止めるか一夜干しにするか

【天位】

生半可な孤独が座るカウンター

❶ 飲み過ぎにご注意ください。

きさらぎ彼句吾

夏草ふぶき

斎藤泰子

村井規子

守田啓子

峯島 妙

むさし

きさらぎ彼句吾

まきこ

まみどり

須藤しんのすけ

むさし

宮井いずみ

宮井いずみ

峯島 妙

参加者募集

川柳吟行会「ぽ」

課題『語』

長いこと出席が叶わなかった「ぽ」の集りに出席できるようになり、まだ数回なのだがひと月はこんなに長かったのかなと思うほど合評会が待ち遠しい。読めない熟語、理解できない言い回しなど素朴な疑問がたくさんあるのだが、それを誰かが的確に発言してくれる。

何人かの意見を聞いている内にスカッと胸に落ちることが多い。村度なく素直でいられるやさしい会である。

(吉田州花)

【12点】特×4・佳×4

バス停に消えた地名が立っている 戒 踊兵

【妙】わずかに残る懐かしい地名がバス停に。そのバス

【8点】特×1・佳×6

お互いにパセリをのけて本音言つ 小野善江

【ふぶき】本題からズレずに本音で言い合うことを、パセリをのけてという言い方にしたのが言いえて妙ですね。面白い言い方を見つけたと思います。【こあき】パ

停も廃線とともに無くなるのかと二重に哀愁が漂う。【吉見恵子】「地名が立っている」が良かったです。目には見えないけど、忘れてはならない地繋がりの歴史を感じました。【五郎】現実の風景と社会的な課題をオーバードラップさせて表現した。【かなえ】「消えた地名」に「語」が見える。日常と非日常の交錯するような面白さがあった。【朱美】赤字路線になった村かな？情景が浮かぶ。【冬鼓】絵が見える。消えた地名は統合された過疎地か。下5に郷愁。【柳本恵子】旧奈良市内のバス停は読めない地名が多いです。【規子】私が後期高齢になる頃は日本全国そんなバス停ばかりになりそう。

セリをのけてが効いている。【さち】緩衝地帯のパセリ
の力って偉大。【まあこ】形に捉われず自由に「パ
セリをのけて」が上手い。【彰子】パセリをのけてはズ
バリ本音を指している。【かなえ】パセリが絶妙に効果
的でリアル。状況の巧みな描写に感服。【達雄】どいつ
もこいつもパセリをのせるから…。

〔7点〕特×2・佳×3

秋の蝶語尾あいまのまま過る

福田文音

【善江】庭で飛んでいる秋の蝶がまさにこれです。【彰子】
ナミアゲハを飼育しているが、放蝶の際、人差し舞う様
が語尾あいまのようで共感した。【妙】まさに今年の
秋はあるんでしょうか！語彙あいまとは奥ゆかしい。
【いずみ】秋の蝶は死を予感しているのだろうか。【五郎】
蝶の飛翔を一コマ切り取って見せた。

〔5点〕特×2・佳×1

ここだけの話に素麺ゆであがる

熊谷冬鼓

【朱美】ここだけの話とは、素麺が茹で上がるくらい
内容なのか？それとも重要なことなのか？気になる。【達
雄】人生で沢山話したし聞いてきたが、確かにゆであがっ

〔4点〕特×1・佳×2

人語鳥語ぶどう一房熟すとき

吉見恵子

【州花】人語を話す鳥も鳥語を話す人もぶどうが熟す頃
には名月に逢えるのです。【文音】「熟すとき」の余韻が
いい。リフレインのように「人語鳥語」に折り返してい
くような秋の景を感じる。【隆志】秋になれば人も鳥も
ブドウと一緒に熟します。

ひとり言誰にはじける鳳仙花

高木まあこ

【いずみ】黒いひとり言がはじけてしまう。鳳仙花の種
がはじけるように誰に聞かせるつもりもないのだけ
ど。【州花】鳳仙花のはじけ方ってスゴイ！【かなえ】語
感がいい。童謡の一節のようでほのぼのとした。

語彙力がピクトグラムになっている 峯島 妙

【冬鼓】自分でも劣化した語彙力にやたらオノマトペが
増えた気がする。それをピクトグラムとした作者のセン
スに脱帽。【善江】「ピクトグラム」が効いています【啓子】
「ピクトグラム」を見つけた作者に脱帽です。

ていたと納得。ラーメンやうどんではなく素麺だ。【ふ
ぶき】ここだけの話の魅力が、ご馳走じゃなく素麺で尚
さら強調されるようですね。茹でた湯気も話を隠すよう
で面白いですね。

〔5点〕特×1・佳×3

六道の辻に出るまで語れない

吉田州花

【隆志】別れ話を切り出せなくて、六道の辻まで黙って
歩いた昔話を思い出し、せつなくなりました。【踊兵】
そりゃあ、一つか二つか、もう少しは有りますかね。【文
音】秋彼岸にこの句に触れて切なさにひかれました。【柳
本恵子】この世界の川柳は初めて。

〔4点〕特×2

美しい日本語ワーバリーツで注文 柳本恵子

【まあこ】最近の省略形の流行語疲れるね！取り戻した
い本来の日本語を ワーバリーツで注文 という皮
肉。面白い！【規子】津軽弁はその昔平安時代に宮中
使われていたと聞いたことがある。堂々と津軽弁で注文
する。

〔3点〕特×1・佳×1

はじまりの雨をきらきら語る川

宮井いずみ

【啓子】雨と川の関係、川に語るせる演出、違和感のな
い仕立て方に惚れ惚れします。【州花】雨から始まる川
だったのですね。

最後に「母さん」と 少年兵の空

滋野さち

【踊兵】「語」からここまでの物語を見せてくれてありが
とうございます。【達雄】英霊の声であり少年の声。語
り継がねば。

綿毛語の行ったり来たり夕暮れる 笹田かなえ

【こあき】綿毛のようにフワフワとあいまいな言葉が行
き交うばかりで物事が決まらない。【彰子】綿毛が飛ぶ
様の比喩が良い。

〔3点〕佳×3

乱丁の国語辞典という暮らし 月波与生

【妙】かなり乱丁してしまってます、もはやバラバラです。
【吉見恵子】思うようにならないこともある人生や暮ら

しを「乱丁」で表現していて良かったです。【啓子】ほんですすほんです。共感の1句。

【2点】特×1

一語でも伝わる心 白芙蓉 高木まあこ

【柳本恵子】優しさのある句ですね。たった一語のやさしx。

墓石のチラシ ちらりちらり無言 福田文音

【与生】「ちらりちらり無言」がいい。チラシともちゃんと響いていて語という題でこれは見事。

ガーベラも鉄砲百合もよくしゃべる 小野五郎

【文音】スキッと花の姿が人間に見えて笑ってしまいましたが。ガーベラは見上げて、百合は見下ろして。

自己主張いっつも文字化けしてしまう 熊谷冬鼓

【さち】思いをちゃんと伝えたいのに、素直に伝わらなくて焦る。相手がちゃんと受け止めてくれない情けなさも強調したかったと思うけど促音「っ」はなくてもいいかも。

十和田たてがみ川柳会九月句会

○日時 9月21日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・佐藤まさあき・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『緩む』 福田 芳記 選

【平抜き】

懸命に頑張る緩み無い背中	木村奈生美
メロドラマ涙腺緩むお年頃	高田 幸柳
年金日 要らぬ買物 後くされ	白山 修治
渋チンのサイフが緩む孫の声	瀧尻 善英
古希の坂少し緩んだ捻子を巻く	瀧尻 善英
付き添いが終わりプツン風の糸	村上 昌子
高齢者 気を緩めれば 事故招く	白山 修治
ゆるゆるを着て体形を甘やかす	村上 昌子
ホステスに囲まれ緩みやに下がる	佐藤まさあき

【秀逸】

【2点】佳×2

元気ですか気になってます季語のこと 守田啓子

【善江】あなたの季語を探しています【朱美】手紙を書き始めたが、四季はなくなってしまうた！

悪口の消える消しゴム飛んでいる 笹田隆志

【ふぶぎ】人の口に戸は立てられぬというので、消しゴムが勝手に悪口を消すつていいなと思いました。ついでに口も消しちゃってください。【規子】言った悪口言われた悪口全部消せたらうれしい。

友達は言葉を向日葵に変える 夏草ふぶぎ

【与生】BL系の世界は好き。が、既視感を感じた分特選句より弱いかな。【こあき】いつも前向きな言葉を返してくれる友達。私にもいます。

※一点句は割愛します。

食べ放題ベルト緩めて箸を取る	佐藤まさあき
スピードを緩めパトカー追い越させ	佐藤まさあき

【特選】

婚礼の儀式終わって帯緩め 高田 幸柳

■席題 『緩む』 瀧尻 善英 選

【平抜き】

遅刻した気が緩んだか年のせい	福田 芳記
ウエストを仕立て直してはくズボン	福田 芳記
緩む夏涼風にのる白い雲	齊藤 蛙井
食べ放題ベルト緩めて箸を取る	佐藤まさあき
メロドラマ涙腺緩むお年頃	高田 幸柳
付き添いが終わりプツン風の糸	村上 昌子
ゆるゆるを着て体形を甘やかす	村上 昌子
婚礼の儀式終わって帯緩め	高田 幸柳
思い込み捨てれば肩の凝りもとけ	村上 昌子

【秀逸】

心身を緩ませワタシらしくなる	木村奈生美
スピードを緩めパトカー追い越させ	佐藤まさあき

【特選】

懸命に頑張る緩み無い背中	木村奈生美
--------------	-------

■宿題 『許さない』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】

軽口が語る有事は許せない

村上 昌子

国際法違反爆撃許せない

福田 芳記

一ミリの誤差も許さぬ境界値

木村奈生美

怨念を 忘れる度量 身が軽く

白山 修治

許されぬ恋を偲んで生きている

高田 幸柳

先に逝く夫をやはり許さない

城後 朱美

弱音吐くことを許さぬ澄んだ空

瀧尻 善英

何時の日か 怨讐を越え 歩み寄る

白山 修治

ここだけの話し広まり許さない

久保あざみ

許さんと言われても逝くひがん花

村上 昌子

許さない私の心 奪う人

佐藤まさあき

青空も神もイジメは許さない

木村奈生美

【秀逸】

許せないことばかりある彼岸花

高田 幸柳

許さない許す花びら語る恋

磯島 雅男

【特選】

学歴が許さぬピエロにはなれぬ

瀧尻 善英

■宿題 『ゆったり』

村上 昌子 選

【平抜き】

ゆったりと 時間調整 年の功

白山 修治

ゆったりのドレスで行こうバイキング

城後 朱美

ゆったりの古い秋雲流れゆく

磯島 雅男

八甲田愛犬ココロと散歩する

久保あざみ

ゆったりと生きる男に付いていく

城後 朱美

ゆったりと朝粥する老母の手

齊藤 蛙井

ゆったりと五感を溶かすハーブの音

瀧尻 善英

ゆったりと川面に写る亡母の顔

高田 幸柳

ゆったりと時が流れる湯治宿

佐藤まさあき

間違えて買ったゆったり和む腹

磯島 雅男

2キロほど歩き お風呂でキュツとする

瀧尻 善英

仕舞い風呂ゆったり仮面脱ぐ至福

木村奈生美

【秀逸】

小春日に婆ちゃん縁側船を漕ぐ

佐藤まさあき

銃を置きゆったりできる日はいつか

高田 幸柳

【特選】

派閥には入らず干している甲羅

瀧尻 善英

■宿題 『揺らす』

互選

① 願い事揺らす戦争正当化

磯島 雅男

① 記憶力あやしく揺れて枯れ尾花

村上 昌子

② 思案から決めて行動 進む道

白山 修治

② 近頃は心を揺らすことがない

久保あざみ

② 裏ガネでゆらぎ始めた保守地盤

齊藤 蛙井

③ 豊作の稲穂と揺れる赤トンボ

高田 幸柳

③ 貧乏じゃないがしよつちゅう揺らす足

瀧尻 善英

⑥ 満月を揺らして上がる露天風呂

佐藤まさあき

◆十和田たてがみ川柳会11月句会案内◆

【時】 11月16日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働福祉会館【宿題】(各題三句詠)『落差』高田幸柳選／『ラ

ンチ』木村奈生美選【互選】(一句詠)『乱暴』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入)【席題】『当日発表』

(三句詠・共選 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名)【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平72 高田幸

柳宛

奈良一艘の珠玉の一句【第二弾】

広瀬ちえみ選

目覚めたら日曜日が降っていた
ご注文は兎ですか耳ですか
たぶんそれはとても正しい濁り方

安藤なみ選

手裏剣もSNSも飛び道具
ほほえみは当用漢字で書きなさい
そこからは選ばないという選び方

田中苑子選

踊りたまえ今人生の最終章
一日一回の森になる時間
この胸を包むものなし冬木立

酒井かがり選

ぶるーすのサビで内臓ぶちまける
キヤバクラのおしぼりパチンと百物語
ぢいさんの渋からオーロラが漏れる

高木まあこ選

問題は忘れちまった悲しみに
力を込めるのは引き金を引く一瞬
ジュテームと鯉がわたしに言うのです

須藤しんのすけ選

熱帯夜チチコロシテキタココロ
泣きなさい人恋いなさい枯れなさい
老いつてさあ夕陽へ跳んだ話だろ？

岩根彰子選

気に入らぬ窓だ爪切る音がするあ
オシボリシボツテモテヲツナイデモ海
オレンジを抱いたら瓶に戻ります

ひとり静選

お祭りのののののののののの水の音
ゼンマイのもどる音だよ聴くがいい
天蕎麦をずるり 終末時計のそり

笹田かなえ選

血糖値は正常「行くぞ！ロシナンテ」
なが〜い廊下の話だが 聞くか？
「さけんじゃねーよ」と星をまき散らす

むさし選

三角と四角が丸になれという
老いつてさあ夕陽へ跳んだ話だろ？
潮騒をいくつ奏でてきたんだろう

笹田かなえ選

放置自転車の青サビの轍
靴底が「で」という顔で待たされる
アーアーアー当機これより羊雲

月波与生選

じいさんにじいさんがいて僕もジイサン
金箔で包む貧しいものばかり
綿毛ふんわりこの子もきつと人を刺す

米山明日歌選

泣きなさい人恋いなさい枯れなさい
潮騒はとても正しい死の匂い
なが〜い廊下の話だが 聞くか？

土田雅子選

海老フライの尻尾食べる派なら赦す
禁止事項でやつと私を炊き上げる
なが〜い廊下の話だが 聞くか？

熊谷冬鼓選

いつの日かこうなる一人っきりの朝ぼらけ
一面に菜花痛くなつたら君を呼ぶ
風呂敷でいる生き方もあるのだよ

藤田めぐみ選

さよならのビードロ的な夢の後先
ゆかば煉獄水ようかんがフワリ
ぢいさんの焼きそばバゴーン的なところ

森茂俊選

海老フライの尻尾食べる派なら赦す
リカちゃんの小指はきつと蜜柑味
モスキート音させてピアスの穴が開く

戎踊兵選

さらさらと彷徨っているさらし首
病葉は流れる川を選べない
イカ墨が五体投地を悔いている

Sin選

何色のわたしを君は裂きたいか
泣いてるか泣いていないか嗅いでみる
まねんだねそたらだごでのたばれば

芝岡かんえもん選

泣きなさい人恋いなさい枯れなさい
銭食うかプライド食うかパン喰うか
なが〜い廊下の話だが 聞くか？

昌善選

マーキングするのであれば白桃に
気に入らぬ窓だ爪切る音がする
目覚めたら日曜日が降っていた

猫田千恵子選

なが〜い廊下の話だが 聞くか？
いつの日かこうなる一人っきりの朝ぼらけ
綿毛から綿毛へ戻つてゆく綿毛

柳本恵子選

一日一回の森になる時間
だとしてもみんな寝言よ海鳴りよ
風呂敷になれる優しさだつてある

河野潤々選

わたくしは便所スリッパ：かも知れない
一日に一回は「べ」になる時間
バチカンの大聖堂の生理痛

おかしょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかしょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

①「Google Chrome」でウェブサイトを開覧する。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているため「ロボットではありません」のチェックで済むようですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用している場合、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出ないはずです。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。

ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずです。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます



確認

□ 2024.11.03 第60回青森市民文化祭川柳大会

【とき】令和6年11月3日(日) 受付12時 席題発表13時 投句締切14時
 【ところ】会場 リンクステーションホール青森(青森市文化会館)4階 中会議室 【会費】1000円(発表誌含) 【宿題】(各題2句詠)「花」吉田州花選 / 「甘い」柴田重虎選 / 「スーパー」むさし選 【席題】(各題2句詠)「」菊池京・栗橋くにお選 / 「」葉閑女・尾形せいじ選 【特別選】(2句詠)「映画」高瀬霜石選 ※呈賞 各題共 特選賞・初声賞 ※懇親会はありません
 ※青森市以外からの参加も歓迎 主催 青森市川柳連盟 / 後援 青森市文化団体協議会 / 連絡先 電話017-739-7137 太田久

□ 2024.11.10 「清流の国ぎふ」文化祭2024川柳の祭典

【開催日】令和6年11月10日【場所】岐阜市民会館大ホール【応募受付期間】(事前投句・当日消印有効) 令和6年5月1日(水)～7月31日(水) / (当日投句・当日出席者に限る) 令和6年11月10日(日) 午前9時30分～11時30分【作品・題(一人各題2句以内)]・(事前投句一次審査員)『天下』荒川八洲雄(愛知) / 『ペーパー』大嶋都嗣子(三重) / 『つなぐ』赤池加久(石川) / 『演劇』いしがみ鉄(東京) / (当日投句)『アニメ』北山まみどり(青森) / 『座』くんじろう(大阪) / 『餉う』弘兼秀子(広島) / 『第二次審査員』松代天鬼(愛知) / 松下清(富山) / 浪越靖政(北海道) / 駒木香苑(福島) / 岡田篤(兵庫)【応募料】事前投句1,000円、当日投句1,000円、弁当代1,000円(当該金額を7/31までに振込) [郵便振込口座] 00960-2-276220 [加入者名]「清流の国ぎふ」文化祭2024川柳の祭典※ただし海外投稿者、障がい者手帳写しを添付された方は無料【応募方法】①所定用紙(一人一枚)に楷書で記入し、ゆうちょ振替請求書兼受領書またはその写しを添えて応募②封筒表に「川柳作品」と朱書き③当日投句の出句締切は11時30分まで④応募用紙該当欄に、事前投句及び当日投句(川柳の祭典参加)、昼食弁当の有無を明記【応募先】一般社団法人 全日本川柳協会 〒530-0041 大阪府大阪市北区天神橋2丁目北1-11 ステップイン南森町905号【主催】文化庁・厚生労働省・岐阜県・「清流の国ぎふ」文化祭実行委員会他

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2)

終着駅 Sin

◆先月号で「読者」と「選者」について書いた。タイムリーにも、それを象徴する出来事があった。先日、放送された「キングオブコント」の審査結果がSNSで炎上した件である◆事の顛末はというと、これまで審査員を務めていたダウントウンの松本人志氏が、ある裁判中ということもあり欠席となった。審査員は歴代のチャンピオンで、ネタを作る側の芸人が務めることになった。審査結果に対する不満は、これまで、見えていない部分ではいろいろ言われているだろうが、カリスマ的存在である松本人志が審査員席からなくなったことで、それが画面上でも感じ取れるような場面が多かった◆それもそうである、その審査結果如何によっては、自分たちの人生が変わるのだから。最近では、賞レースで結果が出なくても、Youtubeなどの配信収入もあるせいか、若手芸人の必死さは昔ほどではない。ただ、まだテレビの影響は大きく、賞レースでの優勝、または優勝できなくても何かしらの爪痕を残すことが売れる・売れないに確実に影響する。それを考えれば、決勝で点数を付け、「面白い」に優勢をつけなければならぬ審査員は、出来ればやりたくないの

が本音だろう◆そして、決勝戦では各組がコントを披露し、審査員がその都度、点数をつけていく流れになっているが、途中のある組が思ったより低い点数だったからか、「ま、これは審査員さんの好みなんで」と審査員批判ともとれる発言がトリガーとなり、SNS上では「審査員の好み」がトレンド入りし、賛否が分かれる議論となった◆私も最終的には「好み」で選ぶしかないと思う。ただ、ネタづくりもしたことの無い一般視聴者の「好み」と、真剣に取り組んでチャンピオンにまでなった芸人の「好み」とでは全くレベルの違う「好み」だということが理解できていないのだろう。まさしくこれが「読者」と「選者」の景色が違うということである◆野球をしたこともない人が大谷翔平批判をしたり、将棋をしたこともない人が藤井聡太批判したりするようなものである。「凄さ」というものは、ある程度その道で上達しないと見えてこない世界でもある◆だからこそ、川柳においても、選者を務める時は、「読者」目線で共感するような作品を選ぶのではなく、自分が驚嘆した作品を堂々と上位にすることが「選者」としてのまず一歩であると思う◆ Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2024.11.13 ㄨ 「川柳吟行会 ぽ」11句会

【投句締切】11月13日（第2水曜日）【題・投句数】『文』2句【合評句会】11月20日（第3水曜日）青森駅前アウガ5階で14:00～【投句・問合せ】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 *それぞれの地で一人吟行して作句し投句願います。参加者全員による選・選評をメールで交換。入選句・選評等は後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方であれば、おかげょうき会員以外でも参加可。年会費1,000円。【メールでの投句】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛



□ 2024.11.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（1月号分）

締切】11月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】1/10発行号【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.11.02 おかげょうき川柳社本社11月句会

【時】11月2日（土）午後1時～【所】アウガ5階小会議室【投句締切】11月1日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『ショー』/『止』/『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『証人喚問』1句【ウェブサイトからの投句】http://www.okajoki.com/【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.12.07 川柳忘年会 2024

【日時】12月7日（土）午後2時～5時【会費】6,000円【場所】リッチモンドホテル青森5階（青森市長島1-6-6 TEL.017-732-7655）【参加申し込み】11月27日（水）までに熊谷冬鼓(toko@okajoki.com)へ【宿題】『大』『谷』『翔』『平』（各題1句詠）【選者】当日の参加者より選出 ※事前に参加申し込みが必要です。当日は宿題の4題のみ、席題はありません。

